


コード番号	072079	類型	Ⅱ - 1
市章			
所在地	〒962-8601 須賀川市八幡町135番地		
所在地標高	海拔 262.00m		
T E L	0248-75-1111	F A X	0248-75-2978
U R L	https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/		

キャッチフレーズ	共につくる 住み続けたいまち すかがわ		
市花	ばたん	PRキャラクター	
市木	あかまつ	ポーター	
市鳥	かわせみ		

区分	氏名(ふりがな)	任期満了日	報酬(月額)
市長(1期)	おお 寺 正 晃	令和10年8月10日	1,000.0千円
副市長	やま 寺 弘 司	令和10年8月31日	774.0千円
議長	さ 藤 瞭 二	令和9年9月3日	509.0千円
副議長	おお 河 内 和 彦	令和9年9月3日	451.0千円

市の概要

(自然条件)  
福島県の中央よりやや南に位置し、東西に広がりのある形状をなしており、東は阿武隈山地、西は奥羽山系の山々が連なり、その間の中央部に平坦地が広がる地形となっている。気候は、総体的には一年を通じて比較的温和で関東地方に近い。

(産業・経済)  
農業は、米、野菜、果物が中心で、首都圏に隣接する優位性を活かし、都市近郊型農業が展開されている。特に「岩瀬きゅうり」ブランドで有名な夏秋きゅうりは、市を代表する特産品となっている。工業は、電気機械器具、窯業、プラスチック製品、鉄鋼業、生産用機械器具、食料品、金属製品、情報通信機械器具、化学工業等の製造業が中心となっている。

(観光・文化)  
国指定名勝「須賀川の牡丹園」、つつじ・しゃくなげ・しゃくやくなど約5万株の「大桑原つつじ園」、430余年前の戦国の世の非運を偲ぶ伝統行事「松明あかし」、和 문화の振興と継承及び地域交流を推進する「風流のはじめ館」、「特撮の神様」と称される円谷英二監督の偉業を顕彰する「円谷英二ミュージアム」、特撮に関する資料の収集、保存、調査研究等により特撮文化を顕彰、推進する「須賀川特撮アーカイブセンター」など、数多くの観光・文化資源を有する。また、「牡丹焚火」と「松明あかし」が俳句歳時記の季語に収載されている。

(伝統行事・伝統芸能)  
松明あかし(毎年11月の第2土曜日)、牡丹焚火(毎年11月の第3土曜日)、棒衝神社「太鼓獅子」(旧暦の閏年10月第1日曜日)、里守屋三匹獅子舞(毎年7月最後の土・日曜日)、梅田三匹獅子舞(毎年7月)、古館ドント焼き(毎年8月16日)、木之崎八雲神社御神輿渡御(旧暦の閏年7月第2土曜日)、仁井田田植え踊り(毎年5月1日)

(特産品)  
岩瀬きゅうり、米(「ばたん姫」)、なし、りんご、もも、トマト、ナス、秋冬ニラ(甘ニラ)、いちご、ソバ、かつば麵、ユキヤナギ、西洋ウメドキ

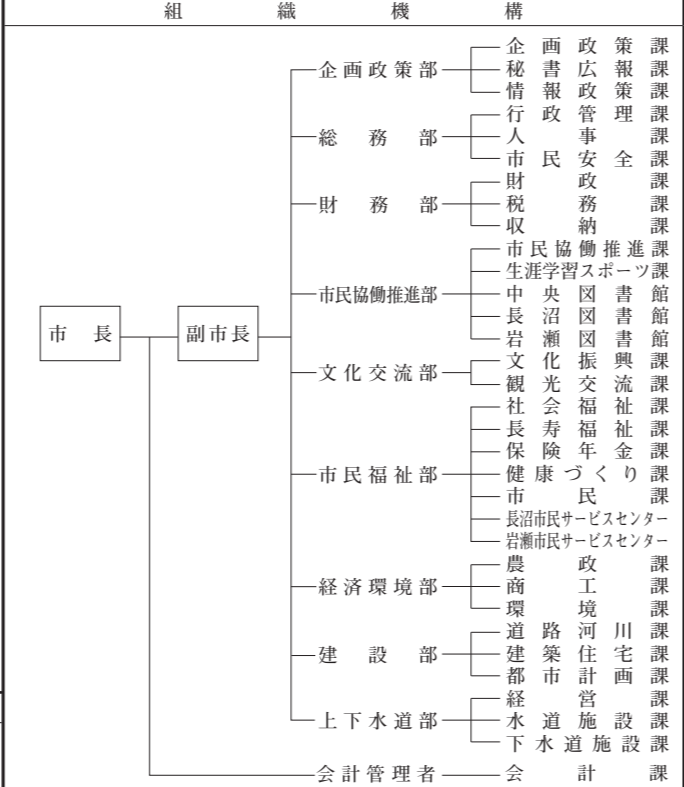
R8年度重点事業	
(震災以外)○小学校給食費負担軽減事業	233百万円
〃 ○生活支援体制整備事業	25 〃
〃 ○防災設備等維持管理事業	18 〃
〃 ○駅西地区都市再生整備事業	281 〃
〃 ○米・食味分析鑑定コンクール国際大会開催事業	6 〃
〃 ○企業連携・強化事業	1 〃
〃 ○特撮文化推進事業	3 〃
〃 ○ふるさと納税推進事業	125 〃
〃 ○長沼小中一貫校整備事業	245 〃
〃 ○観光誘客推進事業(過疎地域分)	1 〃
〃 ○家庭ごみ分別収集運搬事業	299 〃
〃 ○橋りょう修繕事業	220 〃
主な地域開発区域指定状況	
辺地	過疎 準過疎 山村 豪雪
特豪	農産 特農 原発

区分	人口	うち15歳未満人口	うち65歳以上高齢者人口	世帯数	うち高齢者単身世帯数	面積
H17年調	80,364人	12,602人	16,074人	24,726世帯	1,393世帯	279.43km <sup>2</sup>
H22年調	79,267人	11,719人	17,242人	25,792世帯	1,724世帯	人口密度
H27年調	77,441人	10,476人	19,590人	26,345世帯	2,255世帯	261人/km <sup>2</sup>
R2年調	74,992人	9,537人	21,188人	27,127世帯	2,644世帯	
R7.1.1住	72,918人	8,473人	22,244人	30,678世帯	高齢化率	30.51% 県下53位
産業別就業人口(R2年国調)	第1次産業 (8.0%) 2,782人	第2次産業 (31.5%) 10,919人	第3次産業 (60.4%) 20,929人	一人当たり 分 配 所 得 (R4年)		2,761千円 県下20位

有権者数 R8.3.1	男	29,994人	女	31,263人	計	61,257人
議員	(旧)法定上限	30人	条例定数	24人	衆議院議員選挙区	
	現員	24人	任期	令和9年9月3日	第2区	
市の沿革						
昭29.3.31	合併(市制施行)	須賀川町、浜田村、西袋村、稲田村、小塩江村				
昭30.3.10	編入	仁井田村				
昭42.2.1	編入	大東村				
平17.4.1	編入	長沼町、岩瀬村				

総合計画等の策定状況

名称	須賀川市第9次総合計画「須賀川市まちづくりビジョン2023」	
策定年月日	令和4年12月22日	計画期間
		令和5年度から令和9年度まで



一部事務組合等への加入状況			
福島県市民交通災害共済組合			
公立岩瀬病院企業団			
須賀川市地方広域消防組合			
須賀川市地方保健環境組合			

職	一般行政職員 432人	技能労務職員 7人	条約定数
員	教育職員 15人	その他 145人	
数	R8合計	企業職員、税務職員、福祉職員、看護・保健職員等のほか、1年を超えて勤務する定数外職員を含む。	680人
	R4	R5	R6
	593人	596人	601人
			R7
			599人

財政(普通会計)										
(1) 決算 (千円)										
区分	歳入	歳出	形式収支	実質収支	実質単年度収支	積立金現在高	うち財政調整基金	地方債現在高	翌年度以降債務負担行為残高	
R4決算	36,685,610	35,452,235	1,233,375	1,141,849	151,009	3,632,291	1,576,908	41,650,470	7,389,655	
R5決算	37,229,765	36,054,203	1,175,562	1,110,176	▲274,813	3,016,313	1,326,908	41,199,051	6,820,236	
R6決算	37,507,162	35,930,326	1,576,836	1,270,909	▲835,279	1,635,953	327,386	39,683,799	6,141,628	

(2) 指標 ( )は類似団体 (千円・%)										
区分	標準財政規模	財政力指数	経常収支比率	健全化判断比率				資金不足比率		
				実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	比率	備考(事業名等)	
R4決算	(21,265,749) 19,644,156	(0.45) 0.57	(91.8) 97.5	-	-	(8.0) 5.2	55.9			
R5決算	(21,554,559) 19,792,467	(0.44) 0.56	(92.8) 98.8	-	-	(8.3) 5.3	63.1			
R6決算	(21,735,829) 20,296,923	(0.44) 0.56	(94.3) 101.2	-	-	(8.6) 5.6	75.0			

(3) 主な歳入 ( )は構成比 (千円・%)

区分	地方税	地方交付税	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	計
R4決算	(26.5) 9,714,490	(23.6) 8,655,352	(19.9) 7,286,770	(7.9) 2,907,641	(6.1) 2,219,600	(16.1) 5,901,757	(100.0) 36,685,610
R5決算	(26.5) 9,856,901	(22.8) 8,498,430	(19.1) 7,111,446	(7.2) 2,675,068	(7.5) 2,783,900	(16.9) 6,304,020	(100.0) 37,229,765
R6決算	(25.8) 9,673,835	(23.8) 8,936,398	(17.8) 6,665,933	(7.4) 2,766,388	(5.3) 1,981,100	(20.0) 7,483,508	(100.0) 37,507,162

(4) 主な歳出 ( )は構成比 (千円・%)

区分	人件費	物件費	補助費等	扶助費	公債費	普通建設事業費	その他	計
R4決算	(15.6) 5,515,003	(16.9) 5,985,656	(15.9) 5,643,270	(20.9) 7,414,337	(9.3) 3,286,282	(9.5) 3,376,666	(11.9) 4,231,021	(100.0) 35,452,235
R5決算	(15.2) 5,463,980	(14.8) 5,342,530	(14.7) 5,304,470	(22.5) 8,122,342	(9.3) 3,351,482	(11.9) 4,272,514	(11.6) 4,196,885	(100.0) 36,054,203
R6決算	(17.4) 6,244,145	(13.6) 4,881,570	(13.8) 4,951,011	(24.3) 8,719,342	(10.1) 3,620,325	(10.1) 3,627,798	(10.8) 3,886,135	(100.0) 35,930,326

(5) 税の徴収率(国民健康保険除く) (%)

R6決算	現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち		R5決算	現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち	
	99.5	33.2	98.9	市(町村)民税	固定資産税		99.5	34.6	99.0	市(町村)民税	固定資産税

公共施設整備状況										
道路延長	都市公園面積	公営住宅等	幼稚園	認定こども園	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	短大・大学	
1,472,826m	896,400m <sup>2</sup>	1,040戸	155人	3園 14園	16校	9校	1校	3校	1校	1人
老人ホーム	公民館	集会施設	診療所	病院	道路改良率	道路舗装率	永久橋比率	上水道普及率	下水道普及率	
一所	0館	6,010m <sup>2</sup>	13床	1,169床	64.8%	71.4%	98.8%	92.5%	70.2%	

公営企業(R6決算)	( )は法適用企業にあっては経常損益、法非適用企業は実質収支(千円)	主な郷土出身者
(法適用) 特環下水(▲10,650) 農集排(▲25,817)	(法非適用)	亜欧堂田善(銅版画家)、江藤長俊(医師)、小林久敬(安積疎水功労者)、柳沼源太郎(牡丹園経営者)、張堂寂俊(書道家)、服部ケサ(医師)、円谷英二(特撮監督)、須田琪中(日本画家)、円谷幸吉(マラソン銅メダリスト)、ディーン・フジオカ(俳優)、板橋駿谷(俳優)、白熊閔(力士)、相澤晃(陸上競技選手)

今後の主要課題		主な立地企業
(震災以外) ○子育て環境、学校教育の充実 ○健康で安心して生活できる環境の充実 ○ともに支えあう福祉社会の推進 ○防災・減災対策、安全で安心な生活の推進 ○生活基盤の充実と循環型社会の形成 ○雇用の創出と雇用環境の充実 ○農林業、商工業の振興 ○地域の宝の活用と交流の推進 ○市民協働によるまちづくりの推進 ○開かれた行政の推進	(特色ある施策) ○市民協働、公民連携の推進 ○シニアプロモーションの推進 ○DXの推進 ○EBPMの推進  (姉妹都市) 友好都市・中華人民共和国河南省洛陽市 友好親善都市・北海道夕張郡長沼町 友好交流都市・神奈川県座間市 空港で結ぶ友好都市・大阪府豊中市 災害時相互応援協定市町村・神奈川県座間市、北海道夕張郡長沼町、大阪府豊中市、埼玉県朝霞市	